

ナットウエスト・マーケッツ Plc 財務ハイライト 2024年第1四半期



2024年第1四半期のパフォーマンス・ハイライト¹

2024年第1四半期は当社が持つ強みにフォーカスし、ファイナンスおよびリスク対応ソリューションの提供を通じて刻々と変化する顧客の金融ニーズをサポート。

財務パフォーマンス	3億2700万ポンド 総収益	2億5600万ポンド その他営業費用 ²	8200万ポンド 期間利益	
自己資本とレバレッジ	18.1% 普通株式等Tier1(CET1)自己資本比率の実績。中期目標は14%程度。	5.0% レバレッジ比率の実績。中期目標は4%以上。	40.7% 適格債務最低基準(MREL)比率の実績。中期目標は30%以上。	215億ポンド リスクアセット
流動性と資金調達	186% 流動性カバレッジ比率	188億ポンド 流動性ポートフォリオ	25億ユーロ 公募ベンチマーク無担保シニア債発行総額	

- 2024年第1四半期の総収入は3億2700万ポンド、期間利益は8200万ポンドとなった。総収益は2023年第4四半期対比で9700万ポンドの減収。減収の主因として、グループ内他子会社との利益シェア協定から生じる利益が、2023年度通期分としての1億7700万ポンドが第4四半期中に全額一括計上されたのに対し、2024年第1四半期は当該四半期分のみ4500万ポンドの計上だった点が挙げられる。また、債券部門とキャピタルマーケッツ部門で前四半期対比増収となり総収益の減少を一部相殺したが、顧客の取引量減少と為替ボラティリティ水準低下の影響で減収となったカレンシー部門が総収益全体の減少要因に加わった。
- 第1四半期のその他業務費用は2億5500万ポンド(2023年第4四半期:3億1400万ポンド)に減少。前四半期中は問題行為・訴訟関連費用が3100万ポンド発生したが、レガシー問題の解消が進み、今第1四半期には同費用は100万ポンドであった。
- 普通株式等Tier1(CET1)比率は18.1%、レバレッジ比率は5.0%となり、強固な自己資本ポジションが維持された。
- リスクアセットは215億ポンド(2023年第4四半期末:221億ポンド)。今四半期中のリスクアセット減少は、カウンターパーティ信用リスクの低下、および、オペレーショナルリスク対応のリスクアセットが年度ごとの見直しにより減少したことを受けたもの。
- 気候変動およびサステナビリティ関連の資金調達とファイナンスは引き続き堅調。ナットウエストグループでは、2021年7月1日から2025年度末までの期間中に気候変動およびサステナビリティ関連資金調達とファイナンス分野でグループ全体で実行総額1000億ポンドを目標額として設定しているが、当社は今第1四半期末までの累計で342億ポンドを実行した。³
- ナットウエスト・マーケッツPlcは第1四半期中にユーロ・メディアムタームノーツ(EMTN)プログラムから25億ユーロの公募ベンチマーク債を発行した。加えて、当社ではストラクチャードノーツを含むその他形式での調達も実行した。⁴

注: (1) 期中損益はナットウエスト・マーケッツPlc連結ベース、その他の数値についてはナットウエスト・マーケッツPlc単体ベース。

(2) 問題行為・訴訟関連費用は含まれない。

(3) ナットウエストグループが設定した気候関連・サステナブル資金調達およびファイナンス基準(CSFFI)に基づいて、ナットウエスト・マーケッツが当社の顧客に対し実行した資金調達とファイナンスの総額。

CSFFIについては以下リンクを参照(<https://www.natwestgroup.com/sustainability/environment-and-climate/climate-and-sustainable-funding-and-finance.html>)。

(4) 2024年1月9日にナットウエスト・マーケッツPlcはユーロ・メディアムターム・ノート(EMTN)プログラムでベンチマーク債を総額25億ユーロ発行した。

本資料で述べられるガイダンス、目標、期待、傾向は、経営陣の現時点における期待であり、今後変更される可能性がある。変更には、フォーム20-F上で提示したナットウエストグループplcの2023年度年次報告書、および、ナットウエスト・マーケッツの2023年度年次報告書において「リスク要因」として詳述された諸要因の結果として生じる変化が含まれる。本資料には1995年米国私募証券訴訟改革法で定義される「将来予想に関する記述」に該当する目標、期待、傾向が含まれている。詳しくはナットウエスト・マーケッツPlcの年次報告書に掲載された「将来予想に関する記述」を参照のこと。本資料に含まれる「将来予想に関する記述」は本書作成日現在においてのみ有効な記述であり、当該日以降に発生した事象、状況または環境の変化によりグループの期待に変更が生じた場合でも、法的な必要性が生じない限り、その変更を反映させるために「将来予想に関する記述」を更新・改訂し公表する義務や責任を当社は負わない。

当社のビジネスモデル: バリュー創出に向けて

当社の知見と専門性を統合させナットウエストグループの顧客に金融市場へのアクセスを提供

当社の強みとリソース

ナットウエストグループとしての事業全体に接続し隙間なく顧客に提供可能なデジタル仕様のカレンシーサービスと債券業務

業界屈指のディストリビューション網と商品構築の専門性を兼ね備え、先駆的キャピタルマーケットのプラットフォームを完備

気候変動/ESG分野での実行能力に定評あり、サステナブルファイナンス、ESGアドバイザリーおよびソート・リーダーシップの分野でイノベーションを提供

当社のビジネス

当社の顧客層

当社はナットウエストグループの一角として、企業および機関投資家を顧客層と位置付けサポート。キャピタルマーケットとリスクマネージメントの分野におけるソリューションを提供し、ナットウエストグループ内の様々な事業チームとタッグを組んで業務に取り組んでいる。

当社のオペレーション

ナットウエスト・マーケット・グループは英国にヘッドクォーターを置き、アジア、欧州、米国にトレーディングハブを設置。金融市場へは、ナットウエスト・マーケットPlc(NWM Plc)、および、ナットウエスト・マーケット・セキュリティーズInc. とナットウエスト・マーケットN.V.(NWM N.V.)を含む子会社群からアクセス可能。

当社が提供するプロダクトとソリューション

当社は、注文取引と電子取引双方のチャネルを用い、カレンシー業務と債券業務を通じて顧客の流動性管理とリスク管理をサポートする。キャピタルマーケット業務では、ファイナンス、ソリューション、アドバイザリーの各サービスを包括的に提供。

カレンシー/債券/キャピタルマーケットの各分野にストラテジストと商品内容に精通する専門家を配備、顧客の事業の足場となる主要経済圏において、企業と経済に関する知見を提供する。

当社は、業務デジタル化と自動化にとりわけ注力し、デジタル通貨、債券、リスク管理、および国際決済オプションの事業を網羅している。

債券部門:

債券市場において長年築いた専門的地位を誇る当社は、英国ポンド建て、ユーロ建て、米ドル建てを主軸に、キャッシュボンド、レポ取引、金利デリバティブの商品・サービスを各種取り揃え、顧客のファイナンスとヘッジングのニーズに対応。

さらに、金融機関と企業顧客の双方に、投資適格およびハイイールドの債券とローンでクレジットと流動性を提供。

カレンシー部門:

当社は為替分野で様々な賞に輝く金融機関。直物、フォワード、クロスカレンシーのオプションとスワップ取引を網羅するほか、為替ブライムブローカレッジサービスやデジタル上の為替ソリューションも手掛ける。

キャピタルマーケット部門:

当社は、債券、融資、コマーシャルペーパー、メディアムタームノート(MTNs)、私募債等の多岐に渡るプロダクトを取り揃えてグローバル債券資本市場と顧客を繋げ、さまざまなターゲット市場で広範囲に業務を展開するほか、特定の顧客ニーズに応える金融ソリューションやプライマリー融資プロダクトも提供している。

また、ESGと気候変動への取り組みとして弊社が作り上げたキャピタルマーケットのプラットフォームを用い、ソート・リーダーシップ、アドバイスおよび先駆的ソリューションを提供して顧客サイドの気候変動/ESG戦略をサポート。

当社による顧客へのサポートが認知され、数々の賞を受賞⁵

金融機関発行ソーシャルボンド部門年間最優秀リードマネージャー;
国際機関/サブソブリン/政府機関発行ソーシャルボンド部門年間最優秀リードマネージャー;
一般企業発行サステナブル債部門年間最優秀リードマネージャーをそれぞれ受賞
2023年度環境ファイナンス債券アワード

企業向け為替部門でベスト銀行賞を受賞
2023年度ユーロマネー為替業務アワード

プライムブローカー部門最優秀賞を受賞
2023年度eFXアワード

英国国内発行サステナブル・ファイナンス最優秀銀行賞を受賞
グローバルファイナンス2023年度サステナブル・ファイナンス・アワード

英国ポンド建て債券ベストマネージャー賞を受賞
グローバルキャピタル2023年度カバード・ボンド・アワード

サンタンデール銀行発行英国ポンド建て債券、および、ナショナルオーストラリア銀行発行ドル建て債券で、それぞれベスト・ディール賞を受賞
グローバルキャピタル2023年度カバード・ボンド・アワード

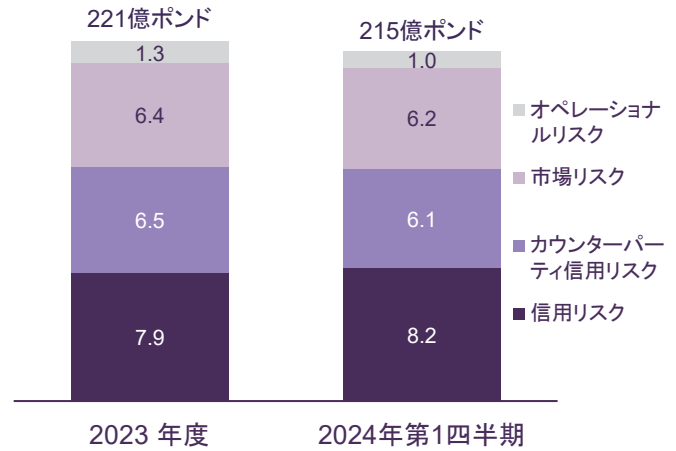
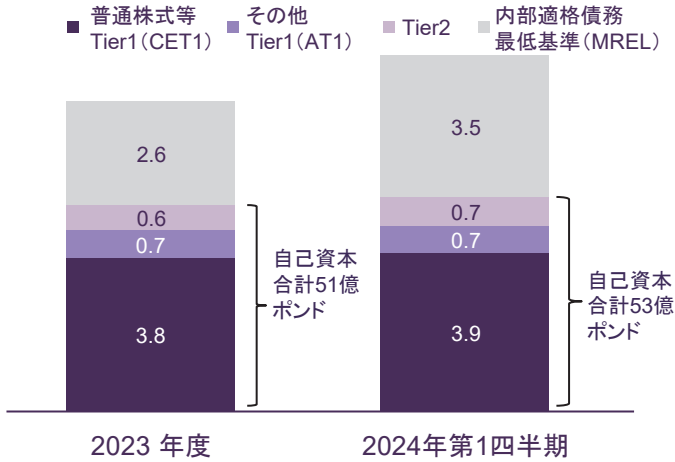
注: (5)各賞(アワード)へのエントリーは、ナットウエスト・マーケットPlcが手掛ける事業を含めてナットウエストグループの親会社レベルが応募。

2024年第1四半期 業績の概要

ナットウエスト・マーケッツPlcの自己資本およびリスクアセットの状況

ナットウエスト・マーケッツPlcの規制自己資本および適格債務最低基準(MREL)の内訳(10億ポンド)⁶

ナットウエスト・マーケッツPlcのリスクアセット(10億ポンド)



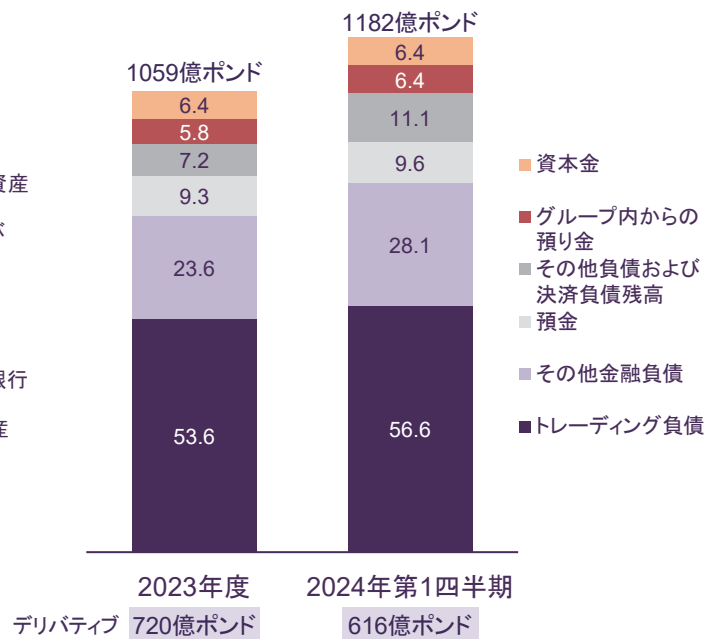
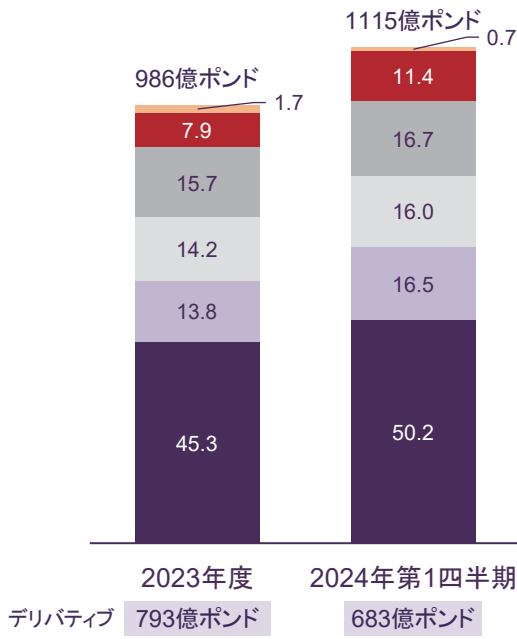
注: 四捨五入の影響で合計値に誤差が生じる場合がある

ナットウエスト・マーケッツ・グループの連結バランスシート構造(10億ポンド)

総資産 1798億ポンド(2023年度末:1779億ポンド)

総負債および資本金 1798億ポンド(2023年度末:1779億ポンド)⁷

うち ファンデッド資産 1115億ポンド(2023年度末:986億ポンド)

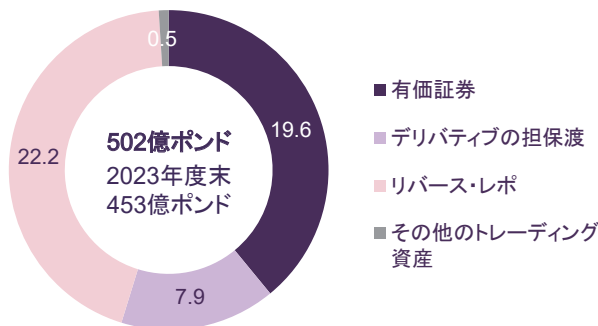


注: ナットウエスト・マーケッツPlcのファンデッド資産は、国際会計基準(IFRS)に則り、公表バランスシートの総資産からデリバティブ資産を差し引いて表示。

注: 四捨五入の影響で合計値に誤差が生じる場合がある

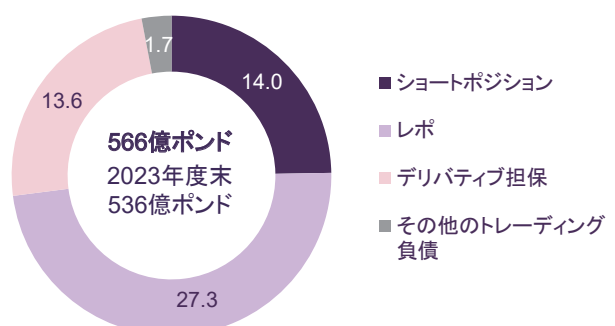
トレーディング資産内訳: 10億ポンド

トレーディングポートフォリオ内に公正価格で保有



トレーディング負債内訳: 10億ポンド

トレーディングポートフォリオ内に公正価格で保有



注: 四捨五入の影響で合計値に誤差が生じる場合がある

注: 四捨五入の影響で合計値に誤差が生じる場合がある

注: (6) 規制自己資本算入対象以外のキャピタルは除く (7) 資本金は自己資本の会計上の価値

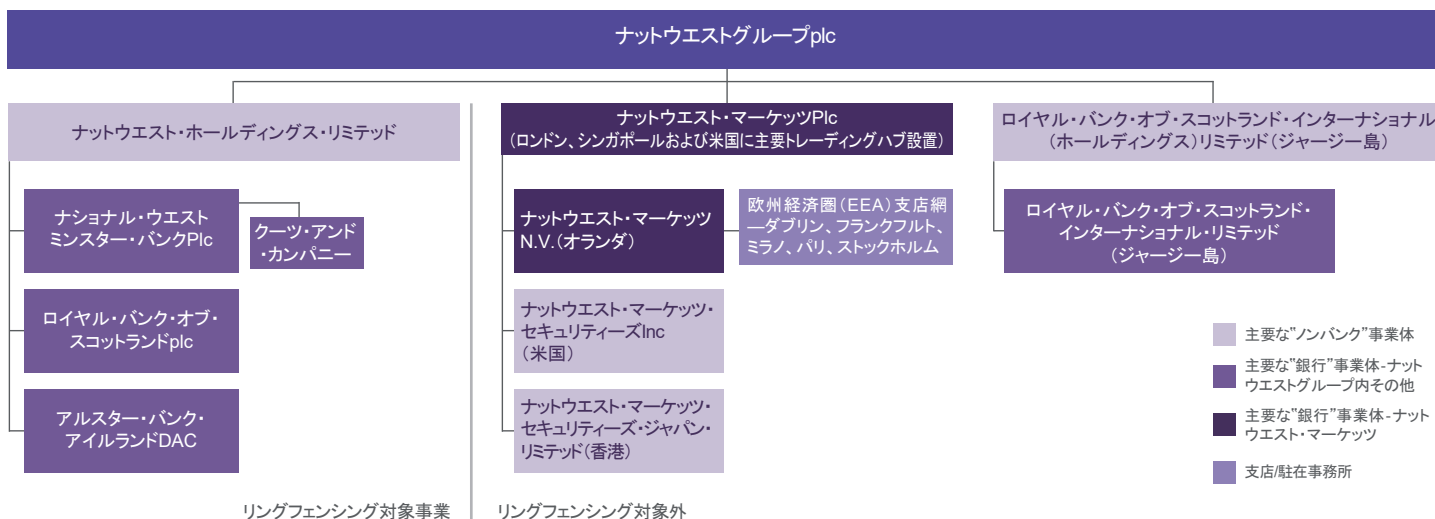
ナットウエスト・マーケッツ・グループ 連結損益計算書(百万ポンド)⁸

損益計算書	2024年第1四半期	2023年第4四半期	2023年第1四半期
債券部門	63	16	70
カレンシー部門	112	145	118
キャピタルマーケッツ部門	165	131	111
自己資本管理部門その他 ⁹	0	19	8
自己信用調整(OCA)計上前の収益シェア分を含む総収益	340	311	307
ナットウエストグループ内の他子会社群との合意に基づく価格トランスファー調整分	(8)	118	(48)
自己信用調整(OCA)	(5)	(5)	6
総収益	327	424	265
問題行為・訴訟関連費用	1	(31)	(8)
その他業務費用	(256)	(283)	(277)
業務費用合計	(255)	(314)	(285)
減損損失計上前の業務損益	72	110	(20)
引当金の戻り/(減損損失)	8	(5)	2
税金(支払い)/戻り	2	2	8
期間利益/(損失)	82	107	(10)

信用格付

	ムーディーズ	スタンダード&プアーズ	フィッチ
ナットウエスト・マーケッツPlc/ナットウエスト・マーケッツN.V.			
無担保シニア債格付	A1 / P-1 / 安定的	A / A-1 / 安定的	A+ / F1 / 安定的
カウンターパーティ格付 ¹⁰	A1/ P-1	A+ / A-1	A+ (dcr)
ナットウエスト・マーケッツ・セキュリティーズInc.			
無担保シニア債格付	格付なし	A / A-1 / 安定的	A / F1 / 安定的
カウンターパーティ格付 ¹⁰	格付なし	A / A-1	A (dcr)

ナットウエストグループ内におけるナットウエスト・マーケッツPlcの位置¹¹



インベスターリレーションズのコンタクト先

ナットウエストグループ債券投資家向けインベスターリレーションズ代表: ポール・パイバス

電話: +44 776 916 1183 Eメール: paul.pybus@natwest.com

注: (8) ナットウエスト・マーケッツPlcの連結決算にはセントラル管理部門その他の数値が含まれる。(9) ナットウエスト・マーケッツ内の各業務部門に対する自己資本の配分と資本最適化を管理する目的で、2020年第3四半期に自己資本管理部門が設立された。本書上の同部門収益はレガシー資産に関連する収益。(10) これら信用格付は、当該債務が破綻処理の際に保護対象になるか否かの可能性について、各格付機関が示す見解である。カウンターパーティ格付の定義は各格付会社で異なるため、これらを同等の意味を持つ格付とみなすのは適切ではない。詳細はムーディーズ、スタンダード&プアーズ、フィッチ各社の格付手法を参照のこと。(11) 理解を促すためヒエラルキーを単純化した組織図。
本資料は、英文資料である原文を日本語に翻訳したものです。本資料と原文とが異なる場合、常に原文が優先しますことをご了承ください。